

## 記者発表資料

平成24年7月31日

九州地方整備局  
延岡河川国道事務所

## 清流・五ヶ瀬川 天下一！

## ～全国一級河川の平成23年水質現況ランキング発表～

今回、全国及び九州地方における一級河川の直轄管理区間について、平成23年の水質現況が発表されました。これによると、全国の107水系164河川及び九州地方20水系26河川評価において、五ヶ瀬川は、BOD\*1ベストランキングで1位へランクされました。（五ヶ瀬川2地点平均）

五ヶ瀬川2地点の平均値は、0.5 mg/lを示しており、昨年より0.1 mg/l改善され、良好な水質を維持しています。過去10年間を見ても良い結果を示していますのは、これまでの流域住民一人一人の努力によるものです。今後も五ヶ瀬川の良好な水質を維持できるようご協力お願いいたします。

## \*1) BODとは

BOD（生物化学的酸素要求量）とは、水中の有機物を栄養源として、微生物が増殖・呼吸するときに消費される酸素量で、20℃5日間で消費される溶存酸素量を標準としています。水質汚濁を示す代表的な指標で、水質関係の各種法令で規制項目として採用されています。

## 【問い合わせ先】

国土交通省 延岡河川国道事務所 技術副所長 か げ 鹿 毛 ひ で き 英 樹  
調査第一課長 さ か も と 坂 本 ま さ み 正 己

〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町1丁目2889番地

電話：0982-31-1155（代） 0982-31-1191（調査第一課直通）

★同時発表 国土交通本省（水管理・国土保全局 河川環境課）  
北海道開発局、各地方整備局及び河川関係事務所

# 平成23年五ヶ瀬川水系の水質現況

◎河川のBOD平均値からみた河川の水質ランキングで、五ヶ瀬川水系は、全国・九州で1位。

直轄河川管理区間の延長が10km以上で、公共用水域の水質測定計画に位置付けられている調査地点数が2以上の26河川について、各河川毎のBOD平均値を算出しました(表-1)。

五ヶ瀬川水系では、五ヶ瀬川本川が上記対象となり、三輪・松山橋の2地点の平均値で評価しています。

表-1 BOD平均値にみる河川の水質

(単位:mg/L)

順位				河川名 ※は支川を示す。	調査箇所		平成23年			平成22年
H23		H22			地点	県名	平均値	BOD平均値 の範囲	BOD 75%値	BOD 平均値
九州	全国	九州	全国							
1	1	1	1	川辺川(球磨川)※	5	熊本県	0.5	0.5 ~ 0.6	0.5	0.5
1	1	3	16	五ヶ瀬川	2	宮崎県	0.5	0.5 ~ 0.5	0.5	0.6
3	14	4	24	厳木川(松浦川)※	3	佐賀県	0.6	0.5 ~ 0.8	0.6	0.6
3	14	4	24	本庄川(大淀川)※	3	宮崎県	0.6	0.6 ~ 0.6	0.6	0.6
3	14	2	14	小丸川	2	宮崎県	0.6	0.6 ~ 0.6	0.6	0.5
6	28	7	33	球磨川	7	熊本県	0.6	0.6 ~ 0.7	0.7	0.6
7	37	4	24	川内川	7	鹿児島県	0.7	0.6 ~ 0.7	0.7	0.6
8	54	11	64	白川	3	熊本県	0.8	0.8 ~ 0.9	0.8	0.8
9	59	8	40	菊池川	5	熊本県	0.8	0.6 ~ 1.0	0.9	0.7
10	68	10	60	番匠川	3	大分県	0.8	0.5 ~ 1.1	1.1	0.8
11	73	9	50	山国川	6	福岡県 大分県	0.9	0.8 ~ 1.0	1.0	0.7
12	92	17	116	犬鳴川(遠賀川)※	2	福岡県	1.0	0.9 ~ 1.0	1.2	1.1
13	100	12	81	緑川	4	熊本県	1.1	0.8 ~ 1.5	1.1	0.9
14	103	16	103	本明川	4	長崎県	1.1	0.7 ~ 2.0	1.2	1.0
14	103	13	95	大分川	4	大分県	1.1	0.9 ~ 1.2	1.2	1.0
16	110	13	95	松浦川	4	佐賀県	1.1	0.8 ~ 1.6	1.3	1.0
16	110	17	116	筑後川	12	福岡県 大分県 熊本県	1.1	0.8 ~ 1.0	1.3	1.1
18	116	23	151	彦山川(遠賀川)※	3	福岡県	1.1	0.7 ~ 1.4	1.4	1.4
18	116	20	124	大野川	3	大分県	1.1	0.7 ~ 1.8	1.4	1.2
20	123	13	95	嘉瀬川	4	佐賀県	1.2	0.9 ~ 1.7	1.3	1.0
21	127	21	138	矢部川	3	福岡県	1.2	0.9 ~ 1.4	1.4	1.3
21	127	17	116	大淀川	7	宮崎県	1.2	1.1 ~ 1.9	1.4	1.1
23	142	22	149	牛津川(六角川)※	3	佐賀県	1.4	0.9 ~ 2.4	1.6	1.4
24	144	26	159	遠賀川	5	福岡県	1.4	1.2 ~ 2.1	1.7	1.8
25	148	24	154	六角川	4	佐賀県	1.5	1.1 ~ 1.8	1.4	1.5
26	158	25	158	肝属川	4	鹿児島県	1.8	0.8 ~ 2.8	2.3	1.8
(全国調査河川数:H22:165地点、H23:164地点)					平均		1.0		1.1	1.0

(報告下限値を0.5mg/Lとして集計)

評価方法:順位は、BOD平均値の小さい順である。BOD平均値が同じ場合は、75%値により評価している。

## 五ヶ瀬川水系の現況

### 1. 水質調査地点

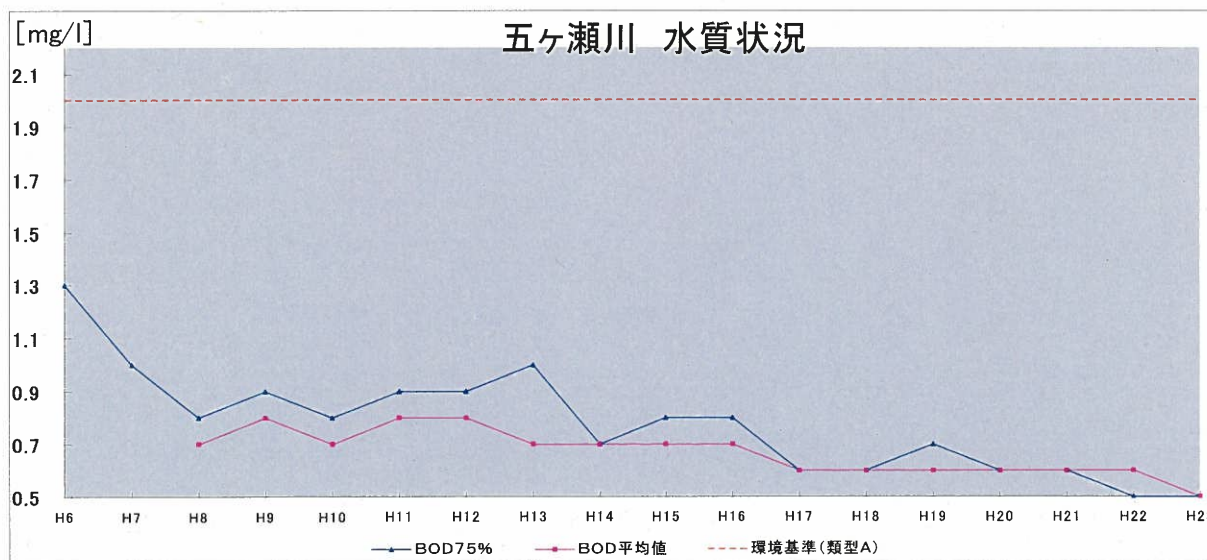
- 五ヶ瀬川水系では、五ヶ瀬川で2地点（三輪、松山橋）、大瀬川で1地点（大瀬橋）、祝子川で1地点（中州合流点）、北川で1地点（白石）の5地点で月1回水質測定を実施している。

### 2. 生活環境項目の保全に関する水質現況

- 水質汚濁に係る環境について、「生活環境の保全に関する基準」のうち、一般的に河川の水質を表すBOD（生物化学的酸素要求量）で示すと次のとおりである。
- 水質的には、五ヶ瀬川は平成23年BODランキングにおいて、全国及び九州で1位（平成22年全国16位・九州3位）となっており、良好な状態を保っている。
- 河川の水質は、下図のとおり、平成6年度から経年的に見ると穏やかな改善傾向にあり、近年の値を見ても良好な水質状態を保っている。
- 環境基準値を満足した地点は、6地点中6地点（昨年全地点）である。

### 平成23年 水質現況

	三輪	松山橋	大瀬橋	中州合流点	白石
BOD75%	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6
BOD平均値	0.5	0.5	0.6	0.6	0.7



地点（三輪、松山橋）

		地点（三輪、松山橋）																		
平成		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	平均
BOD75%		1.3	1.0	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	1.0	0.7	0.8	0.8	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.78
ランキング		7	3	2																
BOD平均値				0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.67
ランキング				2	2	4	5	7	5	6	6	4	2	2	3	2	2	3	1	

### 3. 水生生物からみた河川水質の現況

河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識してもらうため、小中学校の参加を得て、昭和60年度から水生生物による水質調査を実施している。

平成23年度は、4地点（五ヶ瀬川（三輪）、大瀬川（大瀬橋上流）、北川（小川・永代橋）、祝子川（桑平橋）を対象に約100名の小学生の参加を得て、調査を実施した。

調査結果では、全地点で「きれいな水」と判定され、出現した生物は、カワゲラ、ナガレトビケラ、ヒラタカゲロウ等がいた。

「少し汚い水」「汚い水」「大変汚い水」と判定された地点はなかった。

### 4. 水質事故

平成23年度における五ヶ瀬川水系に関連する水質事故出動回数は、8回発生している。

なお、事故発生時の対応については、河川管理者と関係機関により構成される「五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会」を設置しており、発生時においては、速やかに情報の収集、通報、連絡を行うとともに関係機関の協力のもとに、オイルフェンスの設置等の緊急措置を講ずることにより、被害を最小限にとどめる体制を取っている。

### 5. 水質保全に対する取り組み

当事務所では、「五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会」の関係機関と連携し、水質保全を図るために以下の取り組みを行った。

- (1) 水質に関する情報交換
  - ・各機関で実施している公共用水域水質測定結果の共有
- (2) 水質監視体制の確立
  - ・河川パトロールの実施
  - ・水質事故対策訓練及び試料採取、分析の実施
- (3) 広報活動
  - ・水生生物調査
  - ・河川愛護月間におけるキャンペーン活動の実施

### 6. 水質データ（速報値）の公表

九州地方整備局ホームページの下記のサイトにおいて、延岡河川国道事務所が調査測定する全調査地点（5地点）について、毎月の水質データ（速報値）を公表している。

九州地方整備局（河川部）HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/>

## 7. まとめ

河川の水質は、平成6年から経年的にみて穏やかな改善傾向にあり、近年では良好な水質を保っている。

河川の水質は、家庭の雑排水や事業所等の排水に影響されることから、個人の努力により、良好な状態を保つことが可能である。

今後とも水郷のべおかの「うるおいのある豊かで美しい水環境」を目指して、努力し、今後、更に清浄な河川となるよう期待し、水質監視や広報活動を実施するものである。

## ◎水質調査地点位置図

